

3-9 野生鳥獣生息状況調査事業

事業目的

カワウは、宮城県内でも徐々に漁業被害が報告され始めていますが、現時点で県内のカワウの生息状況はほとんど明らかになっていないため、県内での生息分布や繁殖コロニー等、カワウの生息状況を調査するものです。

事業効果

CO2削減効果

-

その他()

事業内容

カワウ生息状況調査

【平成29年度事業費】6,000千円

【実施主体】宮城県

・生息状況等の調査

宮城県内の一級・二級河川、湖沼、松島湾等を対象に、現地調査、文献調査、聞き取り調査を実施します。

現状

カワウによる養殖魚や放流魚の被害が増えています！

でも、カワウがどこからやって来て、どこでエサをとるのか、

どこにコロニーを作っているのか、まだまだ不明なことがあります。

税導入後のイメージ

調査によってそれらを明らかにしていきます。

そして、適正な保護管理対策を検討するのに役立てていきます！